

中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



中村高等学校 創立60周年記念
～英気の泉 心のふるさと～



中村高校創立 60周年記念事業



更に爽やかに

会長 高村 義男

創立60周年記念式典が有意義に行われましたことを心から喜び、更なる発展への契機とすべく懸命に取り組んでこられた皆様に感謝と敬意を表します。式典の司会進行も生徒が行い、生徒全員が場に応じて肅々と立ち居振る舞い、生徒代表の力強い決意表明のあと60周年を期して創られた吹奏楽部の伴奏にのり校歌が爽やかに響き亘ったときは感動に涙しました。まさに「英気の泉」「自主の庭」と歌い上げる中村高校が名実共に教育の名門校を目指す新たな第一歩にふさわしい式典でした。同窓会もこの感動を発展させるべく皆様と協力し母校を支援してまいります。



生徒達の立派な姿に感動

校長 中村 立実

創立60周年記念式典では、司会の長谷川成実さん、榊原崇晶くん、誓いの言葉の片山翔太くん、大変立派でした。創部2年目のブラスバンドの合奏と荒川文葉さんの「花は咲く」、ダンス部の「ピーターパン」は感動のステージでした。係生徒も各々の役割を果たし、全校生徒による校歌斉唱も公会堂に響きました。アン・サリーさんの歌も語りも優しく心に沁み入りました。「品の良い式典、生徒達の立派な姿に感無量でした」と、同窓生の皆様に喜んでいただけたことが何よりです。生徒も含め、全ての関係者に感謝しています。学校・PTA・同窓会の三位一体で更に一歩先へ。



あつまる 顔 顔 顔



見ていると中村高校の校風である「自主」の姿がはっきり見えてきます。式辞の中で中村校長は「社会に貢献する気持ちを持ち続け、皆さんの努力を中村高校の歴史に刻んで欲しい」と生徒を激励し、生徒代表の2年生片山翔太君はそれに応えるように「伝統を受け継ぎ、郷土の発展に寄与したい」と決意を述べました。そして全員による校歌の熱唱が大ホール中に響きわたりました。

中村高校は数多くの保護者、同窓生に見守られながら60年育てられてきたのだと痛感しました。学校・PTA・同窓会が「三位一体」となって、中村高生を支え合っていくという態勢ができていることを認識した記念式典といえます。そして「中村健児」ここにありという印象を強く受けました。



三

位

一

体

老いも若きも母校のために集まる姿を見つけました。

平成24年11月2日（金）、鶴舞公園の名古屋市公会堂において、創立60周年記念式典が行われました。10時開始の式にもかかわらず、1時間以上前から生徒達は集まっていました。平日なのにたくさんの同窓生、PTAも駆けつけました。生徒の手による司会進行を



24年度事業報告

平成24・25年度中村会役員

(詳しくはHPをご覧ください)

会 長	高村 義男 (2 回生)
副会長	佐藤 元嗣 (15回生)
	広報渉外担当
	堀田 守人 (18回生) 総務担当
	太田 守彦 (20回生) 財務担当
事務局長	加藤 伸夫 (26回生)
書 記	川合 富雄 (17回生)
	加藤 伸夫 (26回生)
会 計	山下 路代 (34回生)
	伊藤 太亮 (45回生)
監 査	山田 幸雄 (37回生)
	祖父江 隆 (45回生)

平成24年度中村会事業計画

- 1 総会の開催
- 2 会報の発行 (第10号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催 (年 6 回)
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 土曜教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 中村プロジェクトおよび PTA との連携事業の推進
- 8 文化祭での同窓会バザーの実施
- 9 60周年記念事業の実施
- 10 在校生への奨学金
- 11 縦のつながりの増強活動
- 12 常任幹事の増強
- 13 関東支部の支部総会の実施

平成24年度 中村会予算案

収入の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越金	1,855,318	
入 会 金	1,380,000	@4,000×345名
雑 収 入	1,682	
計	3,237,000	

支出の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	備 考
事 業 費	50,000	総会経費等
広 報 費	HP 運営費	320,000 HP 作成料金等
	通 信 費	600,000 総会案内・会報発送
	会 報 費	230,000 会報
総 務 管 理 費	総会施設費	40,000 総会会場使用料
	名簿管理費	250,000
雑 費	諸 雑 費	15,000
	慶 弔 費	20,000
	会 議 費	5,000 役員会・部会
予 備 費	100,000	
繰 越 金	1,607,000	
計	3,237,000	

平成23年度 中村会決算報告

収入の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	執 行 額	差 額	備 考
前年度繰越金	2,077,023	2,077,023	—	
入 会 金	1,380,000	1,372,000	△8,000	卒業343名
雑 収 入	2,977	8,165	5,188	名簿売上、利息等
周年事業積立金	1,100,000	1,100,000	—	
計	4,560,000	4,557,188	△2,812	

支出の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	執 行 額	差 額	備 考
事 業 費	100,000	30,000	70,000	
広 報 費	HP 運営費	350,000	318,144	毎月アサヒネット 5512、シーズ21000
	通 信 費	600,000	650,047	△50,047 総会案内・会報発送
	会 報 費	250,000	228,690	21,310 封筒は賛助会費で作成
総 務 管 理 費	総会施設費	70,000	32,556	37,444 総会会場借用料
	名簿管理費	180,000	233,665	△53,665 廣済堂年間管理維持費等
雑 費	諸 雑 費	20,000	12,261	7,739 振込手数料他
	慶 弔 費	35,000	20,000	15,000 弓道全国東海大会
	会 議 費	10,000	0	10,000
予 備 費	100,000	72,000	28,000	奨学金 2 名
周年事業積立金積金	200,000	4,507	195,493	
周年事業積立金	1,100,000	1,100,000	0	60周年郵送費
繰 越 金	1,545,000		1,545,000	
計	4,560,000	2,701,870	1,858,130	

次期繰越金

(単位: 円)

収入決算額	支出決算額	次期繰越金
4,557,188	2,701,870	1,855,318

上記に相違ありません

平成24年 4 月 7 日 監査 笹野 明美 ㊞
監査 山田 幸雄 ㊞

関東支部紹介

昨年、本部および関係者の皆様のご協力によりまして、何とか関東支部を立ち上げ、設立総会・懇親会を開催いたしました。今年も昨年に引き続き第 2 回の総会・懇親会を、8 月 4 日 (土) 11時から、五反田ゆうぽうとで34名の参加を得て開催することができました。皆様のご支援に改めまして感謝申し上げます。

関東地区在住の皆様との交流を図るとともに、何らかの形で母校中村高校の発展に貢献できればと思います。年に一回は東京での総会を開催したいと考えていますので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(支部長25回生 浜田和久)



25年度の総会は、5月6日(月)です。案内は8がつく回生を中心にお送りします。

第16回 陸前高田まると支援

平成24年2月17日 中村高校 加藤誠司氏 (26回生)
(名古屋市長務局総合調整部主幹)

平成24年2月17日、1年生全員を対象に体育館で行われました。

名古屋市職員である加藤さんは区役所勤務の後、中部国際空港開設などの種々のプロジェクトを担当し、現在東日本大震災の被災地支援に取り組んでいる。被災地の大変さは現地へ行かないとわからない。15mの津波などという報道を通じてわかったつもりになるが、ボランティアで被災地を訪れた人たちはみな考え方が、心が変わって帰ってくる。名古屋市はなぜ陸前高田市を支援しているか。最も被害が大きかった、支援を求めてきたのが陸前高田だったからだ。市庁舎でも最上階しか助からなかった。陸に打ち上げられた大きな漁船を見ると、被災のモニュメントのようでもあるが、現地の方々は撤去して欲しいという。心の傷が深いことを意味している。東海地震が来ても困らないように準備して欲しい。

市役所を就職の選択肢に考えて欲しいことと、「学生タウンなごや」という河村市長の「どえらけにゃーおもしろい」ものをという声かけで始まった、若者がいきいきと活動できる街をつくろうというプロジェクトのPRもありました。



第17回 原子力実験船「むつ」原子炉プラント運転経験～今、原子力を考える～

平成24年7月11日 中村高校 荒井清明氏 (18回生)
(㈱コージェネシスシステム代表取締役)

平成24年7月11日(土) 本校会議室で、生徒、保護者、教員58名を対象に行いました。

本校卒業後、神戸商船大学原子動力学科に進学し、原子力船への夢を抱きつつ機関工学を学んだ。外航海運会社に入社し船舶機関士としての道に進んだ。洋上では何かあっても自力で何とかするという自己完結性が求められ、的確に対処することこそが「シーマンシップ」のプライドである。イランイラク戦争の中を航行し、また熱量換算で広島原爆の数倍のエネルギーを持つLNGタンカーに乗船するなど、危険と隣り合わせの航海であった。東海村の原子力研究所に出向、原子力実験船「むつ」の開発に従事した。「むつ」は加圧水型の国内第1号の原子炉だ。エネルギーとして熱を出し、蒸気タービンを回す。その動力でスクリューを回して前進する。

人は人生で2,3度耐え難い状況の中で悩み苦しむことがある。しかしなんとかやるうちに強さをつかみ取っていくものである。若いみんなへ。日本は地下資源の乏しい国である。しかし地下に眠っているものばかりが資源ではない。本当の日本の資源は頭脳、勤勉性である。それは今後の日本を支える君たちだ。



創立60周年記念リレー企画

種々の行事で楽しく交流しながら60周年を語り合いました

4/1 ゴルフコンペ (花の木ゴルフクラブ)



7/28 60周年を語る会&食事とお酒を楽しむ会 (愛大車道)

7月28日(土) まだ日の高いうちから「見晴らしのよい」愛知大学車道校舎最上階ラウンジで「60周年を語る会&食事とお酒を楽しむ会」が行われました。

参加者は高村会長を始め、中村校長など男性ばかりの9人が集まりました。各自が持参したおつまみや酒、ビール、ワインが机狭しと並べられました。壮観でしたよ。

始めはビールから始まり、次第にお酒、ワインと飲まれていきました。

最上階だけに見晴らしがよく、夕方から夜に変わっていく景色がお酒の進みをいっそ

う早くしていました。全体として何かまとまった話をするということはなく、本当にざっくばらんに懇談するという感じでした。そのためか、時間のたつのが早かったです。

後片付けも手際よく、テーブルに並んだものがあつという間に片付き、隣のラウンジでコーヒーを飲んで散会となりました。

いつもの仲間と飲む酒もいいものですが、60周年を語る会の趣旨からいって、もう少し広い層の人が集まるともっとよかったと思いました。

(17回生 川合富雄)

4/7 花見 (豊国神社)



中村高校文化祭にバザーを出しました

9月15日中村高校でバザーが行われました。

同窓会からはのべ8人が協力しました。

バザーの主力はなんと言っても不用品で市価の半額から7割引というものばかりです。

同窓会のブースは会議室の1/3という大きさで不用品以外にも鉢物やお菓子が目を引いていました。特にお菓子は、人気に偏りがあり、開店早々になくなる人気商品が出ました。

午後に入ると一斉にさらに割引が始まり、「無料商品」が出るぐらいでした。全体で22,035円の売り上げになりました。



創立60周年記念事業の報告

〈記念式典 平成24年11月2日(金) 名古屋市公会堂〉

記念式典後の第2部は、部活動発表とコンサートです。60周年を期に楽器を一層充実させたブラスバンドがまとまりのあるハーモニーを奏で、それに合わせて3年生荒川文菜さんが「花は咲く」を独唱しました。全国大会で活躍するダンス部は新作「ピーターパン」を披露しました。構想、振り付け、衣装が全て生徒達の手作りとは驚きです。



コンサートは本校36回生、アン・サリーさんの歌と語りです。アンさんは心臓内科医として、おかあさんとして、そして歌手として活躍中です。本校記念行事のために東京からきてくれました。透き通る歌声で私達を魅了し、また高校や大学の思い出を気さくな雰囲気で紹介してくれました。アンさんは「中村高校のみなさん、頑張ってください」と生徒達に語りかけました。



〈60周年記念祝賀会 同日夜 千種メルパルク〉



60周年記念事業の後、写真のように100人ほどの参加で盛大な祝賀会を行いました。世代を超え、みんなで中村高校の60周年を祝いました。

〈創立60周年記念事業 会計報告〉

今回の60周年記念事業のために多数の企業や個人から多大なる協賛金をいただき、ありがとうございました。右表の通り会計報告します。当日の会場費、アン・サリーさんの公演料、記念CDの発行などに活用させていただきました。そして重点事業として、バスクラリネット始め43点の楽器を本校ブラスバンドに寄付しました。

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
協 賛 金	5,217,260
雑 収 入	150,100
計	5,367,360

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
事 業 費 (会場借用等)	897,622
事 業 費 (記念公演料)	1,500,140
事 業 費 (楽 器 購 入)	1,002,281
記 念 C D 発 行 費	1,199,065
事 務 費	531,903
振 込 手 数 料	39,415
計	5,170,426

残高の部 (単位：円)

収入の部	支出の部	残 高
5,367,360	5,170,426	196,934

* 残金は「英気の泉」に繰り入れました。

あなたとつくる中村会

賛 助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。毎年2000円を出していただく（終身会員制度もあります）ことで会の存続が保たれています。今年度未納の方は、同封の振込用紙にて納入をお願いします。

「賛助会費」納入者ご芳名

(平成24年12月現在)

回生	組	氏名	旧姓	回生	組	氏名	旧姓
1	1	高橋 卓司		18	10	藤山 勲	
1	1	野々部 幸男		19	1	松川 裕子	加藤
1	2	大島 孝一郎		19	2	伊藤 文雄	
2	1	高橋 光子	水野	19	9	青木 裕幹	
2	3	古橋 貴美子		20	1	加藤 恵美子	福岡
2	3	山崎 貞夫		20	2	大野 真弓	福岡
3	2	諸戸 宇代	野田	20	4	河合 裕子	谷口
3	3	長崎 信男		20	5	平井 美恵	武野
4	4	鷺野 枝子	水谷	20	6	小崎 峰利	
4	5	内山 幸		20	8	竹内 久代	岡地
5	5	杉本 光祥		21	4	日比野 嘉男	
6	3	鶴岡 守	小笠原	21	5	城 祐一郎	
6	5	本田 美保子	松原	21	6	高田 豊子	
7	1	丹下 親	岩田	21	6	林 勝彦	
7	2	笠谷 新吾		22	3	太田 守彦	
7	6	跡部 義弘		22	5	高木 徹	鈴木
7	7	市原 貞己		22	9	太田 久子	
7	7	角田 輝好		22	9	太田 敬泰	
9	3	鈴木 敏秋		22	9	太田 世	太田
10	3	前田 明徳		23	4	野田 尚美	前川
10	4	佐々木 寛		24	4	角田 大輔	
10	4	遠山 周二		24	4	木村 和文	
10	4	萩原 義昭		24	8	横内 和文	
10	6	神谷 佳弘		25	1	大西 広吉	
11	2	太田 和代		25	1	三島 浩路	
11	3	近藤 誠	恒川	25	7	栗田 宏子	松原
11	3	佐藤 みち子	渡辺	25	10	辻 悦子	
11	7	杉山 信之		26	4	杉嶋 重男	
11	8	桑本 満		26	4	山脇 伸夫	安西
11	9	服部 繁雄		26	5	加藤 伸夫	
12	6	江龍 貞雄		26	7	岩田 賢治	
12	8	中島 博明		27	9	近藤 豊子	
12	10	足代 孝志		29	3	山田 達哉	
14	2	内藤 洋子	平野	29	9	尾岡 秀和	
14	4	前川 耕子	堀田	29	9	水井 守男	
15	1	奥村 恵子		31	1	奥村 信一	
15	2	徳竹 弘子	谷垣	31	3	古橋 信一	吉田
15	3	落合 理		32	7	安形 淑乃	
15	3	桑原 宏司		34	2	谷口 英幸	
15	3	山本 和俊		34	3	竹内 俊幸	
15	4	前島 隆芳		34	7	新田 直子	
15	4	松井 晃吉		34	10	横井 幸雄	
15	6	宮崎 欣一		37	5	山田 幸雄	
15	6	吉川 英信		41	2	藤井 博幸	
15	8	伊藤 美紀		43	8	加藤 里奈	
16	1	大滝 政則		44	1	加藤 真良	
16	4	笹野 明美	寺西	45	3	吉田 昌嗣	
16	5	岩崎 貴子	横地	48	4	後藤 昌貴	
16	5	小菅 とも子	服部	48	5	浅井 勇作	
16	8	鈴木 忠照		49	1	鈴木 啓作	
16	9	日置 義昭		49	1	宮崎 貴一	
17	1	中西 さつき	高木	49	2	森山 貴一	
17	2	近藤 厚子	近藤	49	6	宇佐 美岳	
17	2	仙波 孝子	木村	49	6	鬼頭 ゆみ	
17	3	北村 正光		49	8	林 良恵	
17	8	川合 富雄		50	9	下田 貴子	
17	9	辻 弘美		50	6	井上 忠功	
17	9	野村 昌敏		53	7	大塚 健二	
17	10	奥村 隆一		53	4	星野 岳洋	
17	10	澤木 康平		53	8	細川 舞	
18	3	西松 登代美	島津	54	2	細川 貴弘	
18	5	堀田 久富		54	7	小林 和典	
18	5	村瀬 茂三		55	4	大矢 真理子	
18	7	水野 尚子		旧	職員	岡田 順一	

インターネットのここを検索して！

中村高校同窓会

検索

◆編集後記◆

中村高校開校60周年記念号を発行することができました。式典での中村高校生の自主的な活動を見るに付け、校風である「自主」の活動が脈々と息づいていることが感じられ、同窓生としてうれしい限りです。学校とPTAと同窓会が三位一体となって生徒たちの活動を支えていくことがこれからもできることを切に願っています。

お願い

同窓生で住所変更をされた方は「中村会」事務局までご連絡ください

「中村会」事務局 〒453-0068 名古屋市市中村区菊水町1-2-18 (中村高校内) TEL.052-411-7760 FAX.052-413-5357

英 気の泉とは、中村高校現役高校生に対する援助募金です。この基金を使って、県外試合の補助、海外研修授業の補助などが行われています。安定的な基金確保のために同窓会会員の企業からの募金も受け付けています。

三菱東京UFJ銀行 柳橋支店 普通4709739
英気の泉 萩原義昭

平成23年度 「英気の泉」決算報告

収入の部 (単位:円)		支出の部 (単位:円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	3,125,715	アメリカンサマーキャンプ補助	340,857
個人納入(16件)	591,577	楽器修理費	29,977
総会オークション	16,000	楽器購入	998,000
文化祭バザー収益金	18,966	体操部跳馬	391,125
関東支部より	7,500	計	1,759,959
PTAバザーより寄付	77,133		
利 息	458		
計	3,837,349		

残高の部 (単位:円)		
収 入 額 計	支 出 額 計	次年度繰越金
3,837,349	1,759,959	2,077,390

平成23年度寄付者一覧(敬称略、数字は回生)

岡田順一元校長、西尾恭一郎元教頭、森内泰博PTA会長、2高村義男、9宮崎逸子、10萩原義昭、15宮崎晃吉、16伊藤義人、16石黒正史、17近藤厚子、18堀田久富、18堀田守人、26高木靖之、26加藤誠司、26加藤伸夫

本校の海外交流事業を後援しています！

メントン女子校訪問報告

1年8組 金光 謙吾

(7月28日～8月12日、13名の生徒と4名の引率教諭が参加した、同窓会・PTAの後援行事です。)

オーストラリアでの語学研修を通じて、様々なことを学びました。はじめの3日間の市内観光の後、ホストファミリーと合流しました。家族は50才のお父さんと27才と16才の女の子でした。はじめは緊張して何をしゃべっていいかわかりませんでしたが、次第にうち解けてホームステイも楽しくなりました。オーストラリアの食事は日本とあまり違いはありませんが、おかずはシンプルなものでした。ステイ先の子の学校にも訪問しました。日本の文化を紹介する「Japan Day」で僕たちは歌、茶道、書道、折り紙を4グループに別れて教えました。僕は書道を担当しました。実際に漢字を書かせたところ、メントンの生徒が楽しそうに書いているのが印象的でした。物理や体育の授業にも参加しました。休日はオーギーボールの試合をしたり、水族館に行きました。洗濯は週に1回しかしない、部屋のドアは着替え以外は開けておくなど習慣の違いも知りました。ホストファミリーは僕を本当の家族のように温かく接してくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。また貴重な体験の機会を与えてくれた両親にも感謝したいです。



平成23年度 中村会賛助会費決算報告

収入の部 (単位:円)		支出の部 (単位:円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	2,213,445	事業費	20,000
永年会費	100,000	会報費	37,800
賛助会費	32,000	諸雑費	270,775
計	2,345,445	計	328,575

残高の部 (単位:円)		
収 入 額 計	支 出 額 計	次年度繰越金
2,345,445	328,575	2,016,870